

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	建築積算	
科目基礎情報							
開設学科	建築学科		コース名			開設期	後期
対象年次	2年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	2単位		授業形態	講義			
教科書/教材	初めての建築積算 学芸出版社						
担当教員情報							
担当教員	長島茂			実務経験の有無・職種		有・構造設計	
学習目的							
近年、建築における技術の革新、又、人材不足から、AIを導入するなど建築の合理化は格段に進んでおり、低コストによる建築が要求されている。又、BIMの発展による建築物の積算業務は重要な位置づけとなっており、建築に携わる者は誰もがコスト意識を持たなければならない。建築積算は設計図書や仕様書の内容および各種経費などの積算・見積に関する知識の習得を学習目的とする。具体的には、積算方法の基本知識、手法から躯体、仕上げ工事の実数量を積算できる知識の習得、及び、建築士、並びに建築施工管理技士学科試験の建築分野に対応できる知識の習得も学習目的とする。							
到達目標							
建築物を積算するための知識の習得のために次の3点を到達目標とする。 ① 建築物を積算するための基礎知識と手法を理解する。 ② 積算内訳書から見積書の作成方法を理解する。 ③ 実際に積算内訳書の作成ができる。							
教育方法等							
授業概要	講義中心に演習課題を交えて授業を進め、知識を深める。講義内容、実演習について、常にコスト意識を持ち、数量計算、積算内訳書をまとめながら、理解を深める。確認小テストや、課題提出により理解の到達度を教員、生徒、それぞれ確認し合う。						
注意点	授業で配付したプリント、積算内訳書等は各自でしっかり保管し、授業中でも閲覧できるようにしておくこと。できればクリアファイル等にて管理することを推奨する。必ず、電卓を持参し、授業時間数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。又、計算演習中は、必ず検算するよう心掛けること。日本工学院 授業心得（学生用）を守ること。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	期末試験	50%	試験を総合的に評価する				
	提出課題	30%	期限内に課題提出、回収後、チェックする				
	小テスト	10%	授業内容の単元ごとの理解確認のために実施、チェックする				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	ガイダンス～建築積算の概要			建築積算の概要が理解できる。			
2回	建築積算数量基準の基本			建築積算数量基準の基本が理解できる。			
3回	設計図書の読解			設計図書の読解ができる。			
4回	根切りと計算①			根切り工事の数量積算方法が理解できる。			
5回	根切りと計算②			根切り工事の実数量積算できる。			
6回	鉄筋コンクリート造の数量計算①			鉄筋コンクリート造（基礎）の数量計算が理解できる。			
7回	鉄筋コンクリート造の数量計算②			鉄筋コンクリート造（柱）の数量計算が理解できる。			
8回	鉄筋コンクリート造の数量計算③			鉄筋コンクリート造（梁）の数量計算が理解できる。			
9回	鉄筋コンクリート造の数量計算④			鉄筋コンクリート造（壁～床）の数量計算が理解できる。			
10回	鉄筋コンクリート造の数量計算⑤			鉄筋コンクリート造（階段）の数量計算が理解できる。			
11回	内装仕上げ工事の数量計算①			内装仕上げ工事の積算部位が理解できる。			
12回	内装仕上げ工事の数量計算②			内装仕上げ工事の積算方法が理解できる。			
13回	内装仕上げ工事の数量計算③			内装仕上げ工事（床・天井）の実積算できる。			
14回	内装仕上げ工事の数量計算④			内装仕上げ工事（壁）の実積算ができる。			
15回	内装仕上げ工事の数量計算⑤			内装仕上げ工事の総まとめ。			